

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業点検・評価調書

3-3

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理	取組項目	遺跡の保存等に係る調査研究の推進
節			
事業(施策)名	3 佐渡鉱山関係資料調査	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	県文化行政課、佐渡市社会教育課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○ 構成資産の価値をより高め、遺跡の保存や整備活用のための基礎資料とするため、佐渡金銀山遺跡に係る調査研究を推進する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○ 構成資産に係る文献資料や絵図・図面類等の資料を対象とし、長期的な視点に立った調査研究の計画策定、構成資産の価値を深めるための研究を推進・継続する。</p>		
事業実績	<p>【事業成果】</p> <p>● 構成資産に係る江戸時代の文献史料(川上家文書)の内容調査のため、専門家に調査を依頼した。</p>		
今後の取組・課題	<p>【課題】</p> <p>■ 文献資料や絵図・図面類等の資料数が膨大であるため、今後も計画的に調査を実施する必要がある。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■ H29年度も引き続き江戸時代の文献資料調査を実施するほか、平成29年度より鉱山図面類等のデジタル化を行う。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 〔 a (b) c 〕</p> <p>【事業実施の効果】 〔 a (b) c 〕</p> <p>【総合評価】 〔 A (B) C 〕</p> <p>◇ 資料数が多いことから、複数年にわたり調査を継続する必要があるが、事業初年度として今後の調査計画に伴う調査項目の洗い出しができた。調査成果はガイダンス施設等への活用が図れることから、事業効果は高いと考えられる。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。